

Mini Disclosure

2024年3月期

第150期 ミニディスクロージャー誌

営業のご報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで



静岡中央銀行



お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2024年3月期ミニディスクロージャー誌「第150期営業のご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2024年4月より2年間を計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



取締役社長

小森 博史

取締役会長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗(うち出張所5)
- 従 業 員 数 420人

(2024年3月31日現在)

目 次

- ごあいさつ・当行の概要…………… 1
- 第15次中期経営計画…………… 2
- 業績ハイライト…………… 3
- 地域の皆さまと共に…………… 5
- 連結財務諸表…………… 11
- 単体財務諸表…………… 12
- 株式/役員/連結子会社の状況 …… 13
- 店舗のご案内…………… 14

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

第15次中期経営計画

深化Ⅱ 持続的成長に向けた挑戦

期間/2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念

堅実で健全な経営

目指す銀行像

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル = 訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針

Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

1. 信頼される行動の実践
2. 3つのCCの実践
3. 利便性の高い商品・サービスの提供と課題解決支援の実践

II 営業改革の実践

1. 訪問頻度管理のステップアップ
2. 金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
3. 預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

1. 生産性向上と効率化に向けた業務改革
2. 経営資源の最適化とサステナビリティへの取組み
3. 店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

1. 人事制度改革、採用体制の強化と多様化
2. 挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
3. 行員ロイヤルティ働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

1. 基礎的利益の持続的拡大
2. 安定的な有価証券収益の確保
3. 持続的成長の基礎となる経営管理の強化(創立100周年に向けた対応)

用語解説

「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」とは？

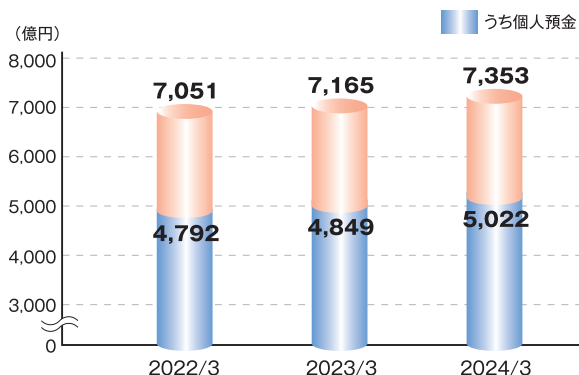
将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことです。

- ①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
- ②当行との取引を永く続けていただけるお客様
- ③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
- ④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

■預金残高

～年間増加率2.6%～

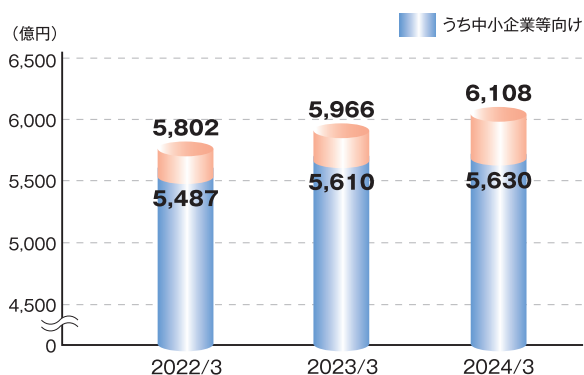
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前期末比188億円2.6%増加の7,353億円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.3%～

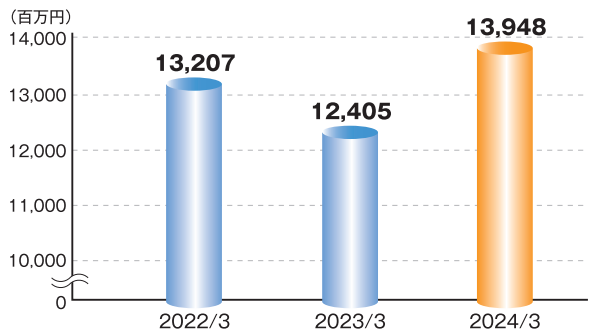
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、資源価格高騰等の影響を受けたお客様への継続的な金融支援等により、貸出金残高は前期末比141億円2.3%増加の6,108億円となりました。



■経常収益

～2年振りの増収～

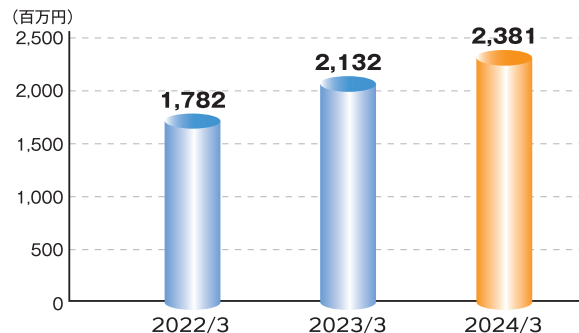
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したほか、株式等売却益の増加等もあり、経常収益は前期比15億43百万円増収の139億48百万円となりました。



■当期純利益

～3年連続の増益～

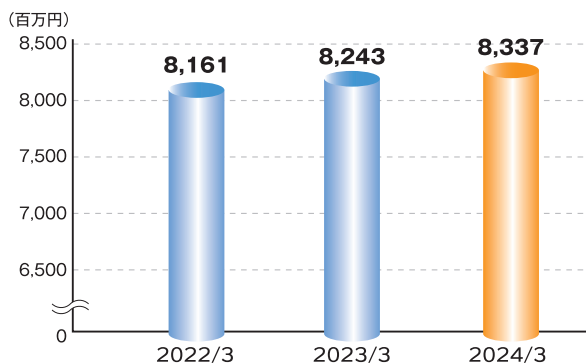
与信費用等が増加したものの、本業が堅調に推移したこと等により、当期純利益は前期比2億49百万円11.7%増益の23億81百万円となりました。



■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～6年連続の増益～

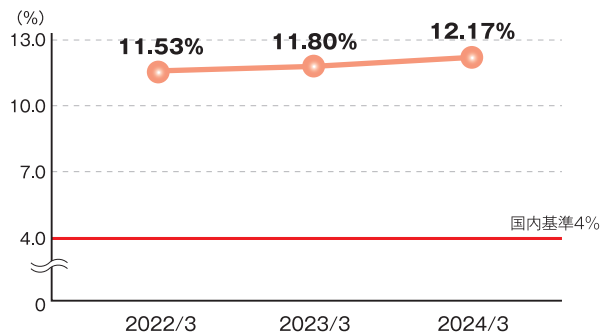
貸出金残高の着実な増加によって、貸出金利息が6年連続で増加したこと等により、預貸金利益は前期比9.4百万円1.1%増益の83億37百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.17%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

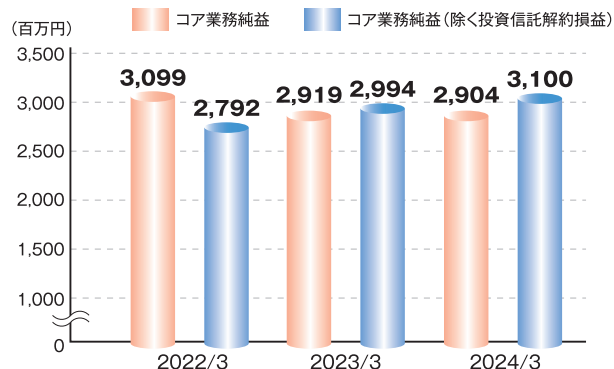


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

預貸金利益、役務取引等利益が増加したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は31億0百万円と堅調に推移しております。

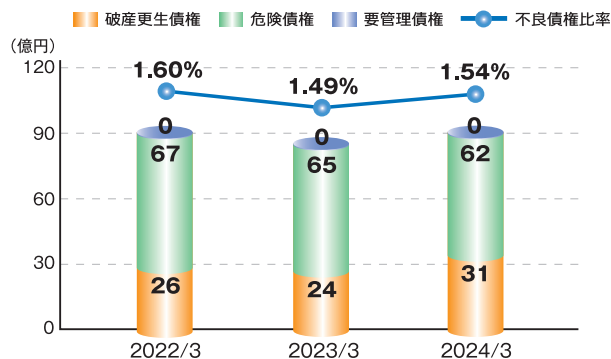
$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券関係損益}$$



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は94億58百万円となり、総与信残高に占める割合は1.54%となりました。なお、同債権の87.47%を担保等でカバーしております。



地域密着型金融の推進

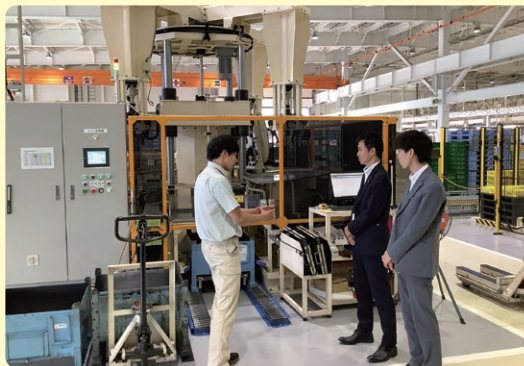
●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取り組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラシ

大和商工会議所との「事業承継支援に関する覚書」締結

2023年6月に大和商工会議所（神奈川県大和市）と地域における事業承継支援に係る連携を円滑に行い、地域経済活性化を図ることを目的とした、「事業承継支援に関する覚書」を締結いたしました。

今後は、会員企業の事業承継ニーズに対し、当行の広域な店舗ネットワークや業務提携する外部専門機関を生かしたサポートを行い、地域の事業承継を全面的にバックアップしてまいります。



大和商工会議所
本田会頭

当行
青島常務

外部専門機関との連携強化 ～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2023年度は新たに11社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2024年3月31日現在 73社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の問題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業継承・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |



撮影協力：株式会社イズラシ

「しずちゅうビジネスクラブセミナー」開催

2023年11月～12月に「しずちゅうビジネスクラブセミナー」を3会場（沼津市、横浜市、掛川市）で開催いたしました。

本セミナーでは、特別講演として株式会社モスフードサービス元会長の櫻田厚氏を講師に迎え、『創業の心を次世代に引き継ぐ』と題し、ご講演いただきました。

「しずちゅうビジネスクラブ」では、会員の皆さまへの各種情報提供、セミナーの開催、会員間の交流等、様々なお手伝いを行っております。

今後も、価値ある情報と経営支援サービスの提供等により、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



地域密着型金融の推進

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「お買い物券付定期預金」による地域貢献

2007年12月より、地域の面的支援として、地元商店街やショッピングセンター等で利用できる「お買い物券」を預入額に応じてプレゼントする「お買い物券付定期預金」の販売を開始いたしました。

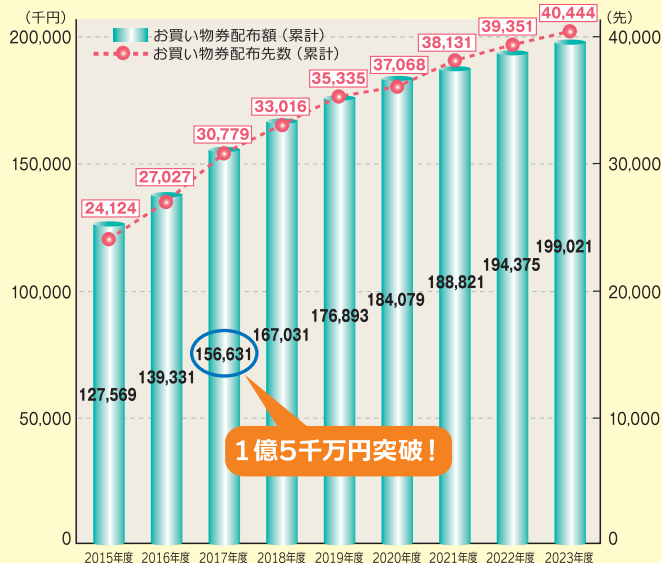
2023年度は、計9回（8地区）実施しました。

今後も、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

「お買い物券付定期預金実績(累計)」

(2007年12月～2024年3月)

- 実施回数: 198回(21地区)
- お買い物券配布先数: 延4万名
- お買い物券配布額: 約1億9千万円



「ご近所応援定期“エール”」好評販売中

主に店舗周辺のお客様を対象とした「ご近所応援定期“エール”」の取扱いを継続し、2024年4月より販売を開始いたしました。

本商品は店舗窓口にご来店していただいた方限定の定期預金となり、安定した資金運用手段の提供により、地域のお客様のライフプランをサポートいたします。

- 取扱期間: 2024年4月1日～2025年3月31日
- 対象: 個人のお客様
※店舗窓口にご来店していただいた方限定
- 預入期間: 1年
- 適用金利: 年0.15%
- 預入金額: 10万円～300万円以内

販売総額 50億円 店舗窓口限定 しずちゅう

ご近所応援定期 エール

特別金利 年0.15% (年0.119%)

お預入れ期間: 1年(自動継続・利払式)
お預入れ金額: おひとり様10万円～300万円以内

2024.4/1 ▶ 2025.3/31

販売総額 50億円 ※お預入れ総額が50億円に達した時点で販売終了となります。

しずちゅうにご来店いただいた方だけの お得な定期預金です!

0120-000-554 静岡中央銀行

●地域に根差した地域貢献活動の取り組み

三島市との共催イベント開催

当行では、地方公共団体との「地方創生に係る協定」に基づき、様々な共催イベントを開催しております。

2024年2月には、三島市との共催イベント「超高齢社会における安心・健康生活」セミナー（87名参加）とノルディックウォーキング（91名参加）を開催し、地域住民をはじめ、多くの方々に参加いただきました。

今後も、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しております。

2023年6月に「第11回」大会を開催し、3日間にわたる熱戦が繰り広げられました。

第12回しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会
会期：2024年6月15日・16日・22日
会場：明神池運動公園浜北球場他



第11回大会優勝チーム 静岡レッドソックススポーツ少年団

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域経済活性化を目的として、当行のカレンダーに使用する富士山の写真を募集するフォトコンテストを開催しております。

2025年カレンダー分 7月末まで募集中

静岡中央銀行 2025年カレンダー 富士山
フォトコンテスト
募集期間 2024年5月1日(水)～7月31日(水)
募集内容
おぼろけの富士山を撮ろう!!
花の咲く頃!!
静岡県内・神奈川県内で撮影された富士山の写真

サステナビリティへの取組み

●サステナビリティ方針

「サステナビリティ方針」の策定

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取組んでまいります。

【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは

SDGsとはSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、2015年9月に国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」という理念に基づき、飢餓・貧困・健康・教育などの世界的な課題を解決するために、2030年までに国連加盟諸国が達成すべき17の目標と169のターゲットで構成された国際的な目標です。

●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実に努めてまいります。

（CO₂ 排出量削減）

定義	Scope1およびScope2※1に該当するCO ₂ 排出量
目標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現

※1

Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用

Scope2：（間接排出）電気の使用

（サステナブル関連投融資）

定義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目標	2023年度から2030年度までに500億円

2023年9月「番田支店」 新築リニューアルオープン（環境配慮型店舗）

当行では、2023年9月に「番田支店」（神奈川県相模原市）を新築リニューアルオープンいたしました。

新店舗は、店舗屋上に太陽光発電設備を設置し、建物内の照明等に電力を供給するほか、壁・床に耐久性、断熱性の高いメンテナンスフリーのセラミック製建材を使用した「環境配慮型店舗」とすることで、CO₂排出量の削減を実現します。

また、お客様に落ち着いた雰囲気の中でご相談していただけるよう、ロビー・応接室の面積を現店舗の2倍に拡大しております。



第150期連結貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	96,109
有価証券	144,332
貸出金	610,826
その他資産	3,874
有形固定資産	8,507
無形固定資産	660
退職給付に係る資産	115
繰延税金資産	0
支払承諾見返	1,241
貸倒引当金	△4,330
資産の部合計	861,338
負債の部	
預金	733,444
借入金	50,900
その他負債	3,949
賞与引当金	359
役員賞与引当金	54
退職給付に係る負債	75
役員退職慰労引当金	791
睡眠預金払戻損失引当金	1
偶発損失引当金	297
繰延税金負債	2,521
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,241
負債の部合計	794,965
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	49,667
株主資本合計	51,668
その他有価証券評価差額金	11,529
土地再評価差額金	3,055
退職給付に係る調整累計額	119
その他の包括利益累計額合計	14,704
純資産の部合計	66,373
負債及び純資産の部合計	861,338

第150期連結損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	14,084
資金運用収益	10,519
（うち貸出金利息）	8,736
（うち有価証券利息配当金）	1,719
役務取引等収益	1,468
その他経常収益	2,096
経常費用	10,434
資金調達費用	398
預金利息	398
役務取引等費用	1,516
営業経費	7,124
その他経常費用	1,395
経常利益	3,649
特別利益	13
固定資産処分益	13
特別損失	38
固定資産処分損	38
税金等調整前当期純利益	3,625
法人税、住民税及び事業税	1,254
法人税等調整額	△151
法人税等合計	1,102
当期純利益	2,522
親会社株主に帰属する当期純利益	2,522

第150期連結株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,000	0	47,198	49,199
当期変動額				
剰余金の配当			△120	△120
親会社株主に帰属する当期純利益			2,522	2,522
土地再評価差額金の取崩			66	66
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	2,469	2,469
当期末残高	2,000	0	49,667	51,668

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,512	3,121	△50	6,583	55,783
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純利益					2,522
土地再評価差額金の取崩					66
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	8,016	△66	170	8,121	8,121
当期変動額合計	8,016	△66	170	8,121	10,590
当期末残高	11,529	3,055	119	14,704	66,373

第150期貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	96,109
有価証券	142,822
貸出金	610,826
その他資産	3,782
有形固定資産	8,346
無形固定資産	659
支払承諾見返	1,241
貸倒引当金	△4,194
資産の部合計	859,593
負債の部	
預金	735,358
借入金	50,900
その他負債	2,384
賞与引当金	359
役員賞与引当金	54
退職給付引当金	131
役員退職慰労引当金	791
睡眠預金払戻損失引当金	1
偶発損失引当金	297
繰延税金負債	2,314
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,241
負債の部合計	795,164
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	48,294
株主資本合計	50,295
その他有価証券評価差額金	11,078
土地再評価差額金	3,055
評価・換算差額等合計	14,133
純資産の部合計	64,429
負債及び純資産の部合計	859,593

第150期損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	13,948
資金運用収益	10,515
（うち貸出金利息）	8,736
（うち有価証券利息配当金）	1,715
役務取引等収益	1,339
その他経常収益	2,093
経常費用	10,507
資金調達費用	398
預金利息	398
役務取引等費用	1,661
営業経費	7,096
その他経常費用	1,351
経常利益	3,440
特別利益	13
固定資産処分益	13
特別損失	38
固定資産処分損	38
税引前当期純利益	3,416
法人税、住民税及び事業税	1,186
法人税等調整額	△152
法人税等合計	1,034
当期純利益	2,381

第150期株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	株 主 資 本									株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					利益剰余金合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			繰越利益剰余金		
				役員退職積立金	有価証券償却準備積立金	別途積立金				
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	37,608	2,607	45,966	47,967
当期変動額										
剰余金の配当								△120	△120	△120
別途積立金の積立							2,000	△2,000	—	—
当期純利益								2,381	2,381	2,381
土地再評価差額金の取崩								66	66	66
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,000	327	2,327	2,327
当期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	39,608	2,935	48,294	50,295

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,396	3,121	6,518	54,485
当期変動額				
剰余金の配当				△120
別途積立金の積立				—
当期純利益				2,381
土地再評価差額金の取崩				66
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7,682	△66	7,615	7,615
当期変動額合計	7,682	△66	7,615	9,943
当期末残高	11,078	3,055	14,133	64,429

株式の状況 (2024年3月31日現在)

- 発行する株式の総数 96,000千株
- 発行済株式の総数 24,000千株
- 株主数 1,467名

大株主の状況 (2024年3月31日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,609	6.70
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2024年6月27日現在)

代表取締役会長	清野 眞司
代表取締役社長	小森 博史
代表取締役専務	林 道弘
常務取締役	芦川 哲也
常務取締役	野中 久記
常務取締役	青島 厚志
常務取締役	守分 宏一
常務取締役	浅賀 友秋
取締役	渡邊 芳和
取締役	金子 良雄
取締役	名波 忠広
取締役	増田 和彦
取締役	内海 順太
取締役	平山 浩二
取締役	森 陽介
取締役	澤田 武嗣
取締役(社外取締役)	藤田 燈
常勤監査役	土居 敏彦
常勤監査役	那須田 研二
監査役(社外監査役)	林 宣男
監査役(社外監査役)	熱田 稔敬

連結子会社の状況 (2024年3月31日現在)

名称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町1番地の1	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円



店舗数 43店舗 (静岡県内 23本支店 3出張所)
 (神奈川県内 14支店 2出張所)
 (東京都内 1支店)

店舗外ATM 17力所

静岡県

本店営業部 (055) 962-6111 沼津市大手町4丁目76番地	御殿場支店 (0550) 82-1345 御殿場市新橋1917番地の1	焼津支店 (054) 628-4125 焼津市本町2丁目1番1号	熱海支店 (0557) 81-6191 熱海市銀座町10番23号
サントムーン柿田川出張所 (055) 973-5888 駿東郡清水町玉川61番地の2	吉原支店 (0545) 52-5125 富士市吉原2丁目4番4号	島田支店 (0547) 37-3161 島田市本通3丁目6番1号	伊東支店 (0557) 37-6636 伊東市中央町10番8号
沼津北支店 (055) 921-1766 沼津市寿町3番3号	富士支店 (0545) 61-1904 富士市本町13番17号	浜松支店 (053) 454-6201 浜松市中央区伝馬町313番地の21	稲取支店 (0557) 95-1200 賀茂郡東伊豆町稲取708番地の1
沼津東支店 (055) 923-7221 沼津市三枚橋杉崎町426番の2	富士宮支店 (0544) 26-8121 富士宮市ひばりが丘1124番地	浜松北支店 (053) 472-2241 浜松市中央区緑ヶ瀬町1243番地	下田支店 (0558) 22-3331 下田市2丁目10番17号
三島支店 (055) 975-2300 三島市本町7番26号	静岡支店 (054) 253-2125 静岡市葵区常盤町2丁目1番地の5	浜松東支店 (053) 421-3155 浜松市中央区緑ヶ瀬町1243番地	南伊豆出張所 (0558) 62-0025 賀茂郡南伊豆町買茂174番地の1
長泉支店 (055) 986-3030 駿東郡長泉町中土狩347-1	マークイズ静岡出張所 (054) 262-6611 静岡市葵区柚木1026	磐田支店 (0538) 34-2211 磐田市中泉622番地3	松崎支店 (0558) 42-0280 賀茂郡松崎町松崎375番地の4
修善寺支店 (0558) 72-2145 伊豆市相久保553番地の1	清水支店 (054) 352-0191 静岡市清水区万世町2丁目6番16号		

神奈川県

川崎支店 (044) 244-7321 川崎市川崎区東田町8番地 (パレール三井ビルディング10F)	香川支店 (0467) 57-7111 茅ヶ崎市香川4丁目44番5号	寒川支店 (0467) 74-1510 高座郡寒川町倉見482番の3	綾瀬支店 (0467) 76-4141 綾瀬市深谷上6丁目16番22号
横浜支店 (045) 751-6100 横浜市磯子区丸山2丁目5番1号	湘南モルフィル出張所 (0466) 34-7015 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号	座間支店 (046) 254-3151 座間市入谷西2丁目56番8号	番田支店 (042) 778-4177 相模原市中央区上溝367番地の6
中山支店 (045) 934-1161 横浜市緑区青砥町172番地4	小田原支店 (0465) 22-9201 小田原市栄町1丁目16番35号	平塚支店 (0463) 54-1100 平塚市横内2291番地	厚木支店 (046) 233-8500 海老名市中新田2丁目14番1号
善行支店 (0466) 82-2311 藤沢市善行1丁目23番地の4	渋沢支店 (0463) 88-3555 秦野市曲崎2丁目2番15号	中央林間支店 (046) 274-1115 大和市中央林間3丁目10番10号	ららぽーと海老名出張所 (046) 235-2251 海老名市膳所13番1号

東京都

東京支店 (03) 5860-1615
港区愛宕1丁目3番4号 (愛宕東洋ビル7F)

住宅ローンセンター

丘陵住宅ローンセンター (055) 962-3300 沼津市大手町4丁目76番地	静岡住宅ローンセンター (054) 262-3232 静岡市葵区柚木1026 (マークイズ静岡出張所内)	遠州住宅ローンセンター (053) 454-6220 浜松市中央区伝馬町313番地の21 (浜松支店内)
湘南住宅ローンセンター (0466) 34-7078 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号 (湘南モルフィル出張所内)	湘南住宅ローンセンター(海老名) (046) 206-6015 海老名市膳所13番1号 (ららぽーと海老名出張所内)	

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の
写真

2024年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「幻想桜富士」宮崎 泰一氏 撮影

雲海に浮かぶ富士山。前景には満開の桜。安定感のある画面中央に、たなびく雲海を配置し、全体を幻想的に表現することで優雅な作品に仕上がっています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2024年6月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>